



阿部 真理子 准教授

【あべ まりこ】

岡山県出身。英国ランカスター大学言語学科 TESOL 修士課程終了。専門は英語教育および第二言語習得。Current English、コーパス言語学、第二言語習得論、キャリアイングリッシュなどを担当。

- Current English1・2
- コーパス言語学
- 第二言語修得論
- キャリアイングリッシュI・II

なぜ外国語を勉強するのか？

皆さんは中学高校で6年間英語を勉強してきて、これからまた大学で2年間勉強することになるのですが、なぜ外国語を勉強するのかということについて考えたことがありますか？

昔とちがって最近では、海外に出かけることはそれほど大変なことではなくなりました。国と国の間の壁が低くなり、人や物が自由に行き来できるようになりました。インターネットを通じて、世界中の情報が入ってきます。それでも私たちが知らない国は、この世の中にたくさんあるのではないのでしょうか？見知らぬ国に住む人たちは、もちろん音楽やスポーツを通して、コミュニケーションを取ることができます。でも更に深いレベルで理解し合おうとするならば、言葉が使えたと便利です。また何か問題が生じたときには、対話を通して解決しなければならないはずです。つまり、話をするためには言語を学ばなければなりません。ことばを学び、様々な文化や価値観に触れる機会を得ることは、これからの国際社会を生きる上で、とても大切です。

そこで皆さんは、大学生活の中で海外へ出かけてみたいと思いませんか？ 一歩日本を出ると、誰も手取り足取り教えてくれません。電車に乗るのも、食べ物を買うのすら、はじめは一苦労でしょう。でも、日本では決して出会うことができないタイプの同年代の人たちと遭遇する体験は、とても刺激的です。日本に住んでいる限りはなかなか体験できないプレッシャーをくぐり抜けると自信もつきます。また日本とは全く異なる価値観の中で、「どうしてこの人達は幸福そうに生活しているのだろう？」とか、「日本での自分の生活は本当に幸福なのだろうか？」などと考えさせられます。つまりホームグラウンドを離れることによって、本当に自分にとって大切なことが見えてくるのです。若くて感受性豊かな学生時代に、これからの人生の基盤になる旅に出かけてみることは重要です。そしてそんな旅に出る時に、外国語ができると本当に重宝します。外国語を勉強すると良い理由はこんなところにも一つあるのではないのでしょうか。